



施主さんの希望は「メンテナンス費用がなるべく掛からない家」でした。給湯器以外ならいいですよとお答えして設計施工しました。そこで費用が掛かる足場をかけるリフォームを減らすため屋根は瓦とガルバニウム鋼板、外壁はガルバニウム鋼板と杉板、ベランダはアルミ製にして30年ほど手が掛からないようにしました。内装は汚れにくいことに加え、腰板や真壁など部屋ごとに仕上げを変えて飽きの来ない仕上げにしました。

S邸



アプローチ、ポーチ

東南角に門扉を配置、門から「く」の字に玄関へ、大きなポーチは自転車を置く場所として利用するためスロープも付けました。また、暗いポーチにならないように東壁を大きくカットしました。



玄関

下駄箱を正面の引戸の中にして、広い玄関にしました。壁は桧腰板付きの真壁、床は半畳たたみを市松に敷きました。



玄関ホールの窓から入る光は、LDKの入り口の戸からキッチンに届くようになっています(LDK右の写真参照)。

LDK

リビングダイニングは玄関と同様に腰板を付けることで、落ち着いた空間と同時に腰から下が汚れにくいようにしました。食卓テーブルは桧集成材の作り付け、二階の床を支える大事な柱とカウンターの壁で支えていてテーブルの足がありません。



キッチンから見た玄関の窓を見る(玄関右の写真参照)

和室

「年をとったらここで……。」という施主の要望で6畳では狭いので8畳にしました。壁は左官の塗り仕上げ 30年ぐらいもちます。サッシ面の床は畳が焼けないようにケヤキの一枚板を張りました。



床の間の落とし掛けは「刃掛け」納まり

寝室兼書斎

ご主人の寝室兼書斎。銀閣寺の同仁齋をヒントに、一枚板のカウンターと窓上に棚板を配置。パソコン、TVなどはカウンターに置いて使用するため、コンセントはカウンター上に付けました。



「銀閣寺 同仁齋」を参考にしたカウンター

トイレ、洗面、浴室

トイレの腰板は汚れに強いホーローパネル、床はクッションフロアでどちらも拭き掃除できます。

洗面の広さは3畳、洗面台、洗濯機を置いても備品を入れる家具などを置くスペースがあります。



洗面の戸 ガラリを上下に付け湿気がこもらないようにしている

納戸、収納

納戸は二段の棚

各室の収納は要望に応じて整理棚などを配置



納戸



各室の収納